

## 事業実施報告書

法人名 特定非営利活動法人 みんなで元気

事業名	わこう銀色プロジェクト	
助成事業の種類	SDG s 推進事業 パートナーシップ	
1. 事業の目的	資源ゴミの分別推進に向け、ゴミ削減や循環型社会を目指す	
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	和光市が課題とする「資源ゴミの分別推進並びに燃やすゴミ削減」に、高齢者が課題解決の担い手として参画し、役割を持って活動する事を介護予防（フレイル予防）への取り組みに繋げる。	
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	時期	内容
	7月	作成 成果物配布
	8月	分別用ゴミ袋の作り方講習会 成果物配布
	9月	銀プロサロン 成果物配布
	10月	銀プロサロン 成果物配布 広報活動 作り方講習会
	11月	銀プロサロン 成果物配布 広報活動
	12月	銀プロサロン 成果物配布 作り方講習会
	1月	銀プロサロン 成果物配布
	2月	銀プロサロン 成果物配布 環境課による講座
	<p>○広報実績について</p> <p>●令和5年10/14 和光市「わびあ」主催の若い世代が多く集まるイベントにて実施</p> <p>●令和5年11/18・19・20 中央公民館での自主イベントにて実施</p> <p>●令和6年2/21 和光市環境課職員による「知って得するゴミ講座」にて実施</p> <p>●講習会での実施</p>	
4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容	<p>・高齢化が進む西大和団地集会所で、継続的に銀プロサロンを実施し、新聞紙を使った分別用ゴミ袋を一緒に作成する事で課題解決の担い手が増えたと同時に、近隣住民の居場所としての役割を担うことができ、フレイル予防に繋がった。</p> <p>・成果物の配架場所として和光市図書館に「わこう銀プロコーナー」を設けており、毎週150枚程度の新聞紙で作るごみ袋を設置しているが、減少が早い事から利用者が増えた事を実感している。</p> <p>・新倉地域の民生委員を中心としたサロンにおいても、わこう銀色プ</p>	

	<p>プロジェクトの目的を伝えながら講習会を実施した事で、必要性を理解して新聞紙でゴミ袋を作る担い手が増え、成果物を地域住民に配布する活動が続いている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・広報活動の一環として、イベントで行った「このゴミどこだ？クイズ」では、関心を示す親子連れが多く、ゴミ分別や削減の必要性について若い世代に周知する事ができ、自分事として考え行動してもらった良い機会となった。</li> <li>・環境課職員による「知って得するゴミ講座」では、子育て中の若い主婦や男性の参加もあり、和光市のゴミを取り巻く現状や課題について具体的に学ぶ事ができた。また、参加者からも多くの質問があり、市民としてできる事に積極的に取り組もうとする姿勢が伺えた。</li> </ul>
5. 費用面での工夫	<ul style="list-style-type: none"> <li>・イベント（広報活動）等で必要な消耗品等については、家庭にある不要品を寄付してもらったりなど、それぞれが出来る形で幅広くプロジェクトに参加してもらえよう働きかけをした。</li> <li>・対象項目以外の必要経費については、当団体から支出した。</li> </ul>
6. 地域社会への還元について	<ul style="list-style-type: none"> <li>・以前と比較しても「わこう銀プロ」の目的や活動内容がより知られるようになり、ゴミの分別や削減に対する関心度が高まっている。</li> <li>・閉じこもりがちだった独居高齢者に、近隣住民が声をかけて銀プロサロンに毎回同行してくれており、非常に良い形で地域の連携が深まっている。また、高齢者のできる事が地域課題解決の一助となることで、生きがいづくりにも繋がっている。</li> </ul>
7. 来年度以降どう事業を継続し発展させていくか	<ul style="list-style-type: none"> <li>・和光市環境課との連携を更に深め、なかなか分別が進まないマンションなど集合住宅への周知も行い、子供達を含む多くの市民の意識が更に高まるよう働きかけていきたい。</li> <li>・SNSなどの活用も視野に入れたい。</li> <li>・銀プロサロンは高齢者のフレイル予防としての役割も担っているため、継続して長寿あんしん課や地域包括支援センターとも連携し、地域での自立した生活が少しでも長くなるようサポートしたい。</li> <li>・担い手を増やし、成果物の配架場所を増やしたい。</li> </ul>

# 事業収支計算書

法人名 特定非営利活動法人 みんなで元気

## 1 収入の部

項 目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
県助成希望額	189,000	189,000	0	
自己資金	21,264	27,120	5,856	
事業実施による収入等	0	0	0	
その他	0	0	0	
合 計	210,264	216,120	5,856	

## 2 支出の部

項目	予算額 (円) A	決算額 (円) B	増減額 (円) B-A	備考
会場費		0	0	
通信運搬費		0	0	
旅費交通費		0	0	
消耗品費	141,864	151,920	10,056	
備品費		0	0	
委託費		0	0	
謝金		0	0	
人件費	68,400	64,200	-4,200	
その他		0	0	
合 計	210,264	216,120	5,856	